

中央公民館運営審議会会議概要

- 1 審議会名 平成29年度 第1回 中央公民館運営審議会
2 日 時 平成29年11月30日(木) 午前10時から午前12時まで
3 会 場 中央公民館 3階 第4会議室
4 出席者 片岡宏文会長、永田芳子委員、加々美貴代委員、斉藤達也委員
5 欠席者 高木奈津子委員
6 市側出席者 竜野館長、堀社会教育指導員
7 公開・非公開等の別 (公開) ・ 一部公開 ・ 非公開
8 傍聴者 0人 記者 1人
9 会議概要作成年月日 平成29年11月30日

協議事項等

- 1 あいさつ (会長)
2 報告 (進行: 会長)
(1) 神川地区拠点施設について(事務局説明)
(2) 平成29年度事業(中間)について(事務局説明)
(3) 公民館の利用状況(事務局説明)
3 協議 (進行: 会長)
(1) 平成30年度事業について
全員: 子どもの事業は継続が大事。子どもの事業も含め平成29年度同様引き続き実施して欲しい。
(2) 上田市公民館運営審議会について
背景及び経過説明(事務局)
・公運審が必要か、から検討。市で一つで良いと思う。
・委員数が多いので縮小しても良いと思う。
・合併で、それまで(合併前)できていたことができなくなったという声を聞く。
・公運審はそれぞれの公民館にあった方が良いと思う。
・住民自治組織との連携も考えてはどうか。
・全市では活発な意見は難しいと思うが人数は多いと思う。
・専門的な議題等は個別に専門家を招へいし聞いてはどうか。
(3) 諮問案件について
「信州型コミュニティスクールと公民館の役割」について
経過及び管内各小中学校の実態及び要望などを説明(事務局)
・信州型コミュニティスクールの背景
学校ではボランティアの発掘と依頼が課題。
公民館の利用者やことぶき大学など。
・自分にとって、身近な問題として捉えていなかった。
・技術を持った方が利用者団体の中にもいる。意見交換会で呼びかけてみたらどうか。
・文科省が言うコミュニティスクールの目的は、ESD(持続可能な開発のための教育)にある。
ユネスコスクールに取り組んでいる町は校長等が異動で変わっても一貫性がある教育がされる。
それは地域の中で教育方針がしっかり共有され継続的に育成がされている。
そのように、地域地域でその学校の子どもの育成方針を持つべき。
・事務局: 上田市は各学校の想いを受け止め、寄り添いながら、求められる支援をするやり方。
・地域の方が学校支援をすることで学校の先生の負担が減るのか。
・地域の方に子どもたちの学習に入っただくことは、必ずしも教員の負担が減る訳ではないが、
同じことでも地域の方に語っていただくと子どもたちの目の輝きが違う。学習が深くなる。
・今後の進め方: 次回までに自由に意見を寄せていただき集約し次回まとめていくことで決定。
(4) 次回会議 平成29年12月19日(火) 午前10時から中央公民館 2階 第2練習室
6 閉会